

道徳科学習指導案

令和2年11月16日(月曜日) 第3校時(10:50~11:45) 1年1組教室

指導者 木村 貴博

I 主 題 Aー(2) 節度, 節制

II 主題名 疾走, 自転車ライダー

III 考 察

○生徒観

生徒は中学校生活にも慣れ, 望ましい生活習慣を築こうと日々努力している。一方で, 学校生活に慣れることで入学当初は注意できていたことがおろそかになっていることもある。例えば, 交通安全に対する注意が挙げられる。一時不停止や, 並走などの交通ルール違反や, 友だちとの会話に夢中で車に気付かず飛び出しをする場面を目にする。実際, 自転車事故による骨折などのけがや地域の方々からの注意も後を絶たない。

道徳アンケートの結果より, 8割の生徒が自転車に乗っている際危険を感じた経験をしており, その経験から「安全の大切さ」について理解していることが分かった。「自分の命を守るため」「相手を傷つけないため」など, 自分や相手の立場から「安全の大切さ」を考えることができています。しかし, 安全が自己の人生を豊かにするための基盤となることに気付いている生徒は少ない。また, 自分の自転車技術について自己採点をさせると平均70点(100点満点中)となった。自分の運転に対する過信も安全性を欠いた運転に繋がっていることも推察できる。

生徒は, 中学校生活の目標や自分の将来の夢を抱いている。その実現のためには安全のある生活は不可欠であり, そのことを生徒自ら自覚できるようにすることが重要である。

安全を常に意識しながら生活することの難しさを共有しながら, 安全があるからこそ人生をより豊かにすることができるという自覚をもち, 行動できる生徒を育てていきたい。

○考えさせていこと

安全で調和のある生活を実現することの難しさ。

IV 本時の学習

1 ねらい

安全で調和のある生活を実現することの難しさについて議論することを通して, 約束等を守らなくてはいけない状況下において安全を守るために人間としてどのような対処が望まれるか判断できる力を育てる。

2 準備・資料

教科書, タブレット, PowerPoint, ワークシート

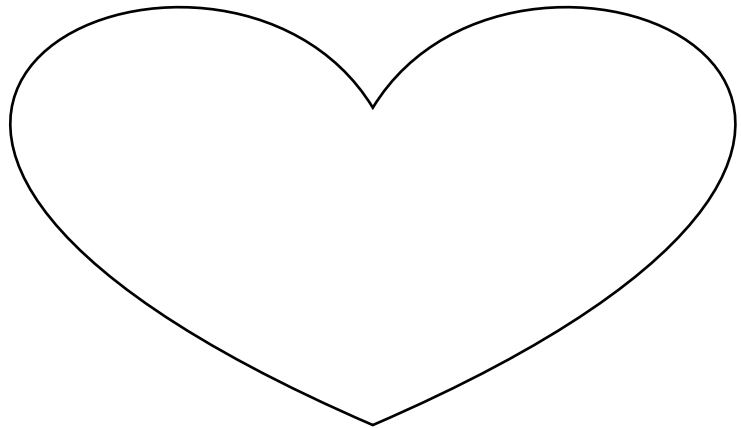
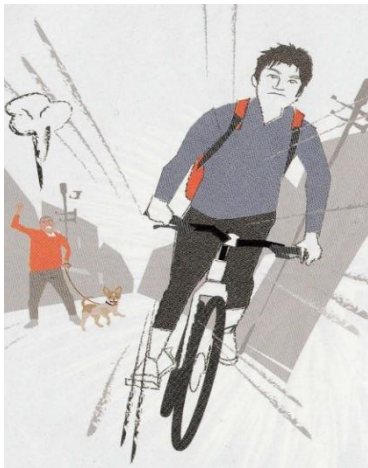
3 本時の展開 (◎は中心発問)

学習活動と子どもの意識	基本発問	時間	指導上の留意点・支援	評価の視点
1 本時で扱う道徳的価値について, 問題意識をもつ。 自転車に乗っていて危険と感じたとはありますか? ・下り坂で車のドア急に開いてぶつかりそうになったよ。 ・畑に落ちそうになったことがあるよ。 安全が大切だと分かっている, どうして事故が絶えないのか? ・確かに, 最近事故が多いよね。 ・注意不足によるものかな? 課題		5分	○アンケート結果を提示することで, これまでの自転車に関する経験を想起させ安全について問題意識をもてるようにする。 ○安全の大切さについて理解しているのに事故が絶えないことを問うことで, 改めて安全の大切さについて考える必要感をもてるようにする。	
「安全」はどうして大切なのだろう?				

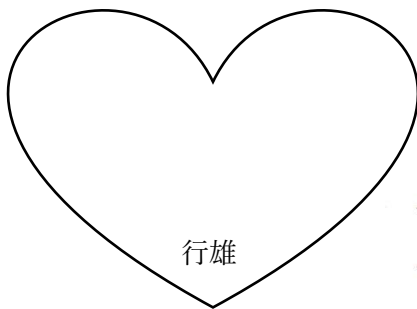
<p>2教科書の教材文の範読を聴き,登場人物の心情について考える。</p> <div data-bbox="113 192 783 286" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>行雄が友達との待ち場所や家へ向かっているとき,どんな気持ちだったのだろう?</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・友達を待たせたら申し訳ない。急いで行かなきゃ。 ・お母さんに怒られたらいやだな。一秒でも早く家に帰りたい。 <div data-bbox="113 432 783 573" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>病室にいるとき,行雄や家族はどんな気持ちだっただろう? ケガを知った友達はどんな気持ちだろう?</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・急がなければよかった。予定も台無しになってしまったよ。 ・命が無事でよかった。 ・帰りに骨折をしたなんて悲しいな。しばらく一緒にサッカーできないのは残念。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ○挿絵だけを PowerPoint で示しながら範読することで,教材の物語に入り込めるようにする。 ○「スピードが上がる感覚がたまらない。」、急いでいる時「いらいらする。」など行雄の人間味のある行動や感情について同じように感じた経験はないか想起させることで,行雄に対して共感できるようにする。 ○行雄が約束を守るために安全を軽視し,急いでいる時の心情を考えさせることで,人間の弱さに気付けるようにする。 ○本人・家族・友人という立場が異なる人の心情についてそれぞれ考えさせることで,安全の大切さについて多角的な視点から考察できるようにする。
<p>3教材を通して,道徳的価値についての考えをもち,交流をする。</p> <div data-bbox="113 1088 783 1182" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◎もし,あなたが行雄だったら,友達との待ち場所や家へ帰る途中,どうしますか?</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・安全を優先させてゆっくり帰ることを選ぶ。途中で事故にあったら遊ぶことや出かけることだってできなくなってしまう。 ・行雄と同じように急いでしまうかな。友達を待たせて嫌な思いをさせたくない。 ・友達や家族との約束ならば安全を優先して,遅れたことを謝ればいいけど,人生がかかっているから入試は遅れるわけにはいかない。そのときは安全よりも時間に間に合わせることを優先してしまうかもしれないな。 ・安全をよりも約束を守ることを優先して,事故を起こして,命を落とすことがあったら,家族や友人は悲しむよね。自分や他人を傷つけないためにも安全は大切だな。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> ○「約束」「安全」という2つの価値を対立させることで,「安全」の大切さについて葛藤できるようにする。 ○価値の対立軸に自分の考えに一番近い場所に○をつけて表現させることで,考えの見える化ができるようにする。 ○ネームマグネットを黒板に貼らせることで,多様な考え方を共有できるようにする。 ○「約束」を大切にすると答えた生徒に対しては,「もし途中で事故に会ったら家族や遊ぶ予定だった友達はどんな気持ちになるか?」など様々な視点から問い返しを行うことで,「安全」を大切にする意義について考えられるようにする。 ○「安全」を大切にすると答えた生徒に対しては,「部活の大切な試合当日に寝坊」「入試当日に寝坊」など場面や状況等の設定を変えながら「安全」を常に最優先できるか多面的に考えさせることで,心に揺れが生じるようにする。 ○再度,価値の対立軸に自分の考えに○をつ

<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り, 学習の課題についてもう一度考える。</p> <div data-bbox="113 197 786 244"><p>「安全」はどうして大切なのだろうか？</p></div> <div data-bbox="113 253 820 477"><p>・学校や部活に遅刻しそうで急いでくることは今まで何度もあった。安全は大切だと思うけどつい急いでしまう。しかし, 事故にあったら自分や相手が傷つくだけではなく家族や友人にも悲しい思いをさせてしまう。何よりやりたいことも出来なくなってしまう。だからこそ安全を大切に生活していきたいな。</p></div>	10 分	<p>けさせることで, 議論を通して, 考えの変容に気付けるようにする。</p> <div data-bbox="933 203 1495 472"><p>安全を意識しながら生活することの難しさを考えながら, 安全の価値についての理解を自分自身との関わりの中で深められていたか。</p><p>※評価方法: 発言・ワークシート</p></div>
--	------	--

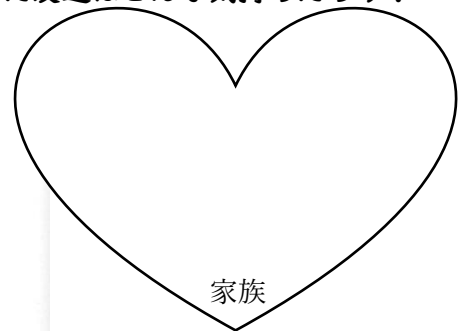
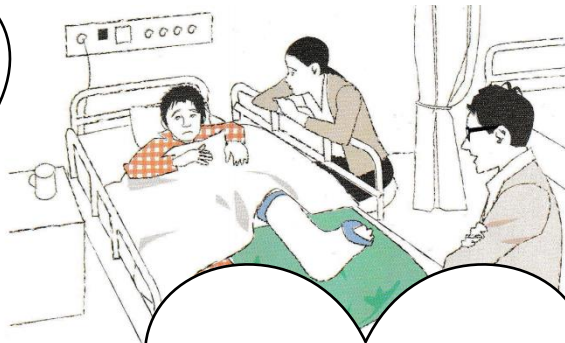
○ 行雄^{ゆきお}が友だちとの待ち場所や家へ向かっているとき、どんな気持ちだったのだろう？



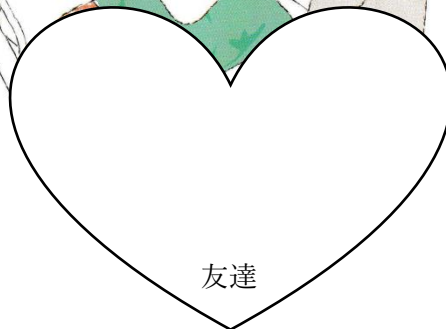
○病室にいるとき、行雄や家族はどんな気持ちだったろう？ケガを知った友達はどんな気持ちだろう？



行雄



家族



友達

○もし、あなたが行雄だったら、友達との待ち場所や家へ帰る途中、どうしますか？(○をつけよう)

約束(急ぐ)

安全(ゆっくり)



その理由は・・・



